

エコールームについて

エコールームは聴覚に障害がある生徒のための『通級制の学級』です。普段は、在籍の学級で学習しながら、必要に応じて通級し、在籍学級でよりよく生活・学習できるように指導・支援しています。

生徒達は武蔵野市内外から、校内通級でエコールームでの指導・支援を受け、第一中学校のそれぞれのクラスで活動しています。もちろん、ほかの生徒と同じように、委員会や部活動などにも参加しています。

武蔵野市内の生徒は、校外通級の選択をすることもできます。



<理解・啓発活動>

○ 難聴理解授業

毎年、全学年に向けて、エコールーム担当が1時間ずつ難聴理解授業を行いました。『難聴』とは何か、難聴生はどんな聞こえ方なのか、難聴生と接する時に注意して欲しいことなどを説明します。

本校では教室全ての椅子・机にテニスボールを装着し、静かな授業環境を整えています。

手話部

活動日は月曜です。エコールームの生徒は全員入部し、通常学級の生徒と共に活動しています。他の部活動と兼部する生徒もいます。3月の合唱コンクールでは、手話歌の発表を行いました。曲の歌詞に合わせた手話を考え、部員全員で1つの手話歌を作りあげていきます。(今年度より10月実施になります。)

<その他>

- ① 教育相談・進路面談に同席
- ② 宿泊行事への引率
- ③ 英語検定・ESAT-Jのリスニング補助

武蔵野市立第一中学校

エコールーム(難聴学級) 学級要覧



〒180-0006 武蔵野市中町 3-9-5

☎ 0422-51-1136 (学級直通)

※R8年1月より 直通電話停止

FAX 0422-36-3733 (学級直通)

指導体制について

学級目標

- 自らの障がいを受容し、自己肯定感を高めていく人間になろう
- きこえの状態を管理、工夫する力を身につけ、必要な支援を求めることのできる人間になろう
- 自分に合ったコミュニケーションスキルを確立し、他者との関係を築ける人間になろう

1 通級生(令和7年4月現在)

	1年	2年	3年	計
男子	2(1)	0	1	3(1)
女子	0	0	2	2
合計	2(1)	0	3	5(1)

* () 内は校外通級生の内数

2 聴力の程度

程度	軽度	中度	高度	重度
人数	1人	3人	0人	1人

3 職員と指導教科

校長	中嶋建一郎
副校長	田中 淳一
国・英・社・自立	西尾末和 岡田大輝
英語(講師)	小川真也子

※必要に応じて、エコールームで教科における自立活動を行います。

4 指導内容

<自立活動>

水曜日の放課後、金曜日の朝読書の時間に自立活動を行います。また、「エコー新入生歓迎会」、「近隣中学校難聴学級交流会」、「先輩の話を聞く会」、「武蔵野市難聴学級小中交流会」、「市内作品展」、「進路報告会」、「エコー送別会」などの行事の企画・準備も行います。1年～3年の縦割りの集団で、先輩から学び、後輩に教える中で和やかな人間関係が作られています。

「自立活動」では、自分のきこえの状態を知り、必要な支援について理解し、障害を受容する気持ちを育てています。卒業後は、聴力に応じた配慮や具体的な支援方法を自分で伝えてい

けるように、指導を行っています。

また、進路選択に関する相談、周囲への理解などについても、在籍級・在籍校と連携を取りながら、支援を行っています。

<教科における自立活動>

一人一人の状態を把握して作成した「個別指導計画」に基づき、難聴学級では教科指導の中で自立活動に関する指導も併せて行っています。英語・国語と社会の一部を小集団や個別で指導します。英語のリスニングテストは、代替問題や音量拡大など、個々の聞こえの状態に合わせた方法を選択して行います。

5 情報保障

入学式、卒業式、合唱コンクールでは、会場にスクリーンを設置し、ボランティアによるパソコン要約筆記を行っています。(市費負担)

授業では生徒本人がデジタル補聴システムを持ち込み、教員に使用をお願いすることもできます。始業式、終業式、朝礼等の集会では、タブレットPCを利用した要約筆記を行い、正確に情報を得る練習をしています。